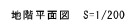


階数	室名	改修前 改修後	床	巾 木	H	壁	天 井	C H	註 記	廻線 グランド	照明BOX グランド	室名札 と外付け	特 記		
2	実習室	改修前	長尺塩ビシート貼 *	半硬質プラスチック巾木 *	100	モルタル金ゴテ VP	外壁側：PB t=12 VP	石綿1層板1/4板 t=5 目隠し貼 VP *	2,520～ 2,715	天井勾配あり	塩ビ 【撤去】	○	○×2	ホワイトボード、掲示板、調理台、意匠作業台、食器棚	
		改修後	既存塩ビシート【撤去】t=1/4床→ t=1/4【新設】	既存巾木【撤去】 t=1/4巾木【新設】	100	EP=【塗替】	LSF下地、DB=0 t=1/4.5【新設】	LSF下地、DB=0 t=1/4.5【新設】	2,520～ 2,715	天井形状復原	塩ビ 【新設】	SOP塗		ホワイトボード、掲示板、調理台【更新】	
	倉庫(3)	改修前	長尺塩ビシート貼 *	半硬質プラスチック巾木 *	100	モルタル金ゴテ VP	デッキあらわし VP	デッキあらわし VP	3,415		塩ビ	—	○		
		改修後	【既存のまま】	【既存のまま】	100	EP=【塗替】	【既存のまま】	【既存のまま】	—		塩ビ	—	○		
	レクリエーション室	改修前	緑込：ビニル床シート t=1/4.5 【撤去】コニクリンク	ラウン t=24 OP	100	PB t=9+12 下地、 t=1/4.5貼	PB t=9 捲貼、岩綿吸音板 t=12 *	3,000～ 3,400	—		塩ビ 【撤去】	●	○	下足箱、手廻、ビクチャ＝レール	
		改修後	緑込：既存t=1/4床→【撤去】t=1/4床→ t=2,0【新設】 ＝既存2/2シタ【撤去】2/2シタ t=1/4.5【新設】下地共	既存巾木【撤去】 木製巾木【新設】	100	ビニルクロス【撤去・新設】	LSF下地、DB t=1/2、DB=AC t=1/4.5【新設】	LSF下地、DB t=1/2、DB=AC t=1/4.5【新設】	3,000～ 3,400			塩ビ 【新設】	SOP塗		スクリーン【撤去・新設】、ビクチャ＝レール【撤去・新設】
	倉庫(4)	改修前	塩込	ラウン t=24 OP	100	モルタル金ゴテ VP *	化剤PB t=9 貼 *	2,700			塩ビ 【撤去】	—	○		
		改修後	【既存のまま】	SOP【塗替】	EP=【塗替】	LSF下地とも【撤去】 LSF下地、DB=0 t=1/4.5【新設】	2,700				塩ビ 【新設】	●	○×2		
	更衣室(1)(2)	改修前	コルクタイル貼	半硬質プラスチック巾木 *	100	LSF下地、PB t=12 VP *	モルタル金ゴテ VP *	化剤PB t=9 貼 *	2,500			塩ビ 【撤去】	●	○×2	
		改修後	既存3/4床【撤去】下地共 t=1/4.5【新設】下地共	既存巾木【撤去】 t=1/4巾木【新設】	100	EP=【塗替】	LSF下地とも【撤去】 LSF下地、DB=0 t=1/4.5【新設】	2,500				塩ビ 【新設】	SOP塗		
	3	ロビー(3)	改修前	長尺塩ビシート貼 *	半硬質プラスチック巾木 *	100	モルタル金ゴテ 吹付タイル *	PB t=9 捲貼、岩綿吸音板 t=12 *	2,900 ＝部2,900			塩ビ 【撤去】	○	—	柱型 コーナビード(アルミ)、産度案内板(2ヶ所)
			改修後	既存塩ビシート【撤去】t=1/4床→ t=1/4【新設】	既存巾木【撤去】 t=1/4巾木【新設】	100	EP=【塗替】	LSF下地とも【撤去】 LSF下地、DB=AC t=1/4.5 捲貼、DB t=9【新設】	2,900 ＝部2,500			塩ビ 【新設】	SOP塗		○
廊下		改修前	長尺塩ビシート貼 *	半硬質プラスチック巾木 *	100	モルタル金ゴテ 吹付タイル *	PB t=9 捲貼、岩綿吸音板 t=12 *	2,900			塩ビ	—	—		
		改修後	既存塩ビシート【撤去】t=1/4床→ t=1/4【新設】	既存巾木【撤去】 t=1/4巾木【新設】	100	EP=【塗替】	LSF下地、DB t=9、DB=AC t=1/4.5【新設】	2,900			塩ビ	—	—		
講堂兼ﾌﾞﾗｳﾅﾘｰﾙ室		改修前	静電気防止ﾌｧﾍﾞｯﾄ	ラウン t=24 OP	100	特殊有孔珪カル板 t=8 目隠し貼 VP(ニテアスラック系同等品) ※ 寒冷砂貼、ロックウール t=25光通	下り天井：PB t=9 捲貼、岩綿吸音板 t=12 着色仕上 *	2,400	壁紙被下地、有孔ボード t=12 捲する部分 は、光拡散防止の為、暗色に塗装する		塩ビ	●	○×2	配管用ビット	
		改修後	【既存のまま】	SOP【塗替】	EP=【塗替】	暗色塗装	2,400	暗色塗装			塩ビ	—	SOP塗		
控 室		改修前	長尺塩ビシート貼 *	半硬質プラスチック巾木 *	100	モルタル金ゴテ VP *	外壁側：PB t=12 VP *	化剤PB t=9 貼 *	2,500			塩ビ	●	○×2	イス
		改修後	既存塩ビシート【撤去】t=1/4床→ t=1/4【新設】	既存巾木【撤去】 t=1/4巾木【新設】	100	EP=【塗替】	【既存のまま】	2,500			塩ビ	—	SOP塗		
ﾌﾞﾚｯｷﾝｸﾞｼｮﾝﾙﾔﾀﾞｰ (1)(2)		改修前	静電気防止ﾌｧﾍﾞｯﾄ	ラウン t=24 OP	100	和下地形：特殊有孔珪カル板 t=8 目隠し貼 VP *	PB t=9 捲貼、岩綿吸音板 t=12 着色仕上 *	2,600			塩ビ	—	○×2	棚	
		改修後	【既存のまま】	SOP【塗替】	EP=【塗替】	暗色塗装	2,600				塩ビ	—	—		
ﾌﾞﾗｳﾅﾘｰﾙ収納庫 ﾌﾞﾗｳﾅﾘｰﾙ前室		改修前	静電気防止ﾌｧﾍﾞｯﾄ	ラウン t=24 OP	100	モルタル金ゴテ VP	PB t=9 捲貼、岩綿吸音板 t=12 着色仕上 *	3,600			塩ビ	—	○		
		改修後	【既存のまま】	SOP【塗替】	EP=【塗替】	暗色塗装	3,600				塩ビ	—	—		
倉庫(5)		改修前	モルタル金ゴテ	半硬質プラスチック巾木 *	100	モルタル金ゴテ LSF下地、珪カル板 t=8+8	化剤PB t=9 貼 *	2,500			塩ビ	○	○		
		改修後	【既存のまま】	【既存のまま】	EP=【塗替】	【既存のまま】	2,500				塩ビ	—	SOP塗		壁ひび割れ補修 バテ処理
空調機械室(1)		改修前	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	100	コンクリート打設し、ロックウール t=25 貼	コンクリート打設し、ロックウール t=25 貼	—			塩ビ	—	○		
		改修後	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	—								

[illegible]

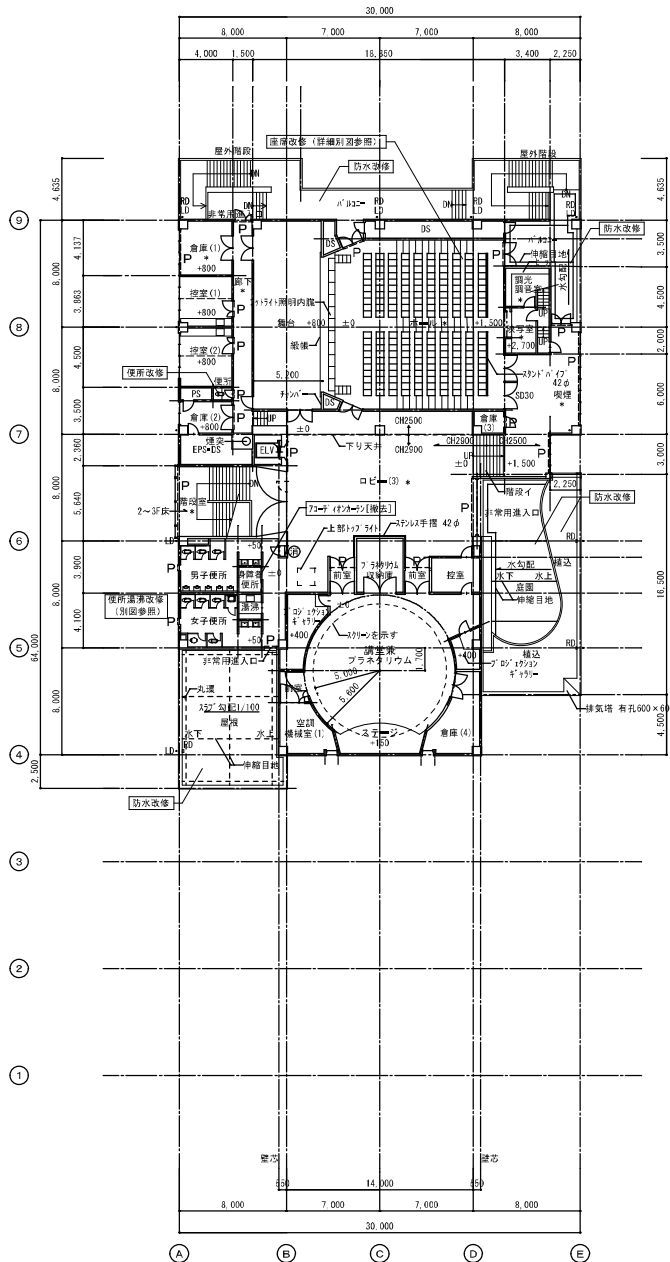
: 改修内容
床改修範囲は仕上表参照



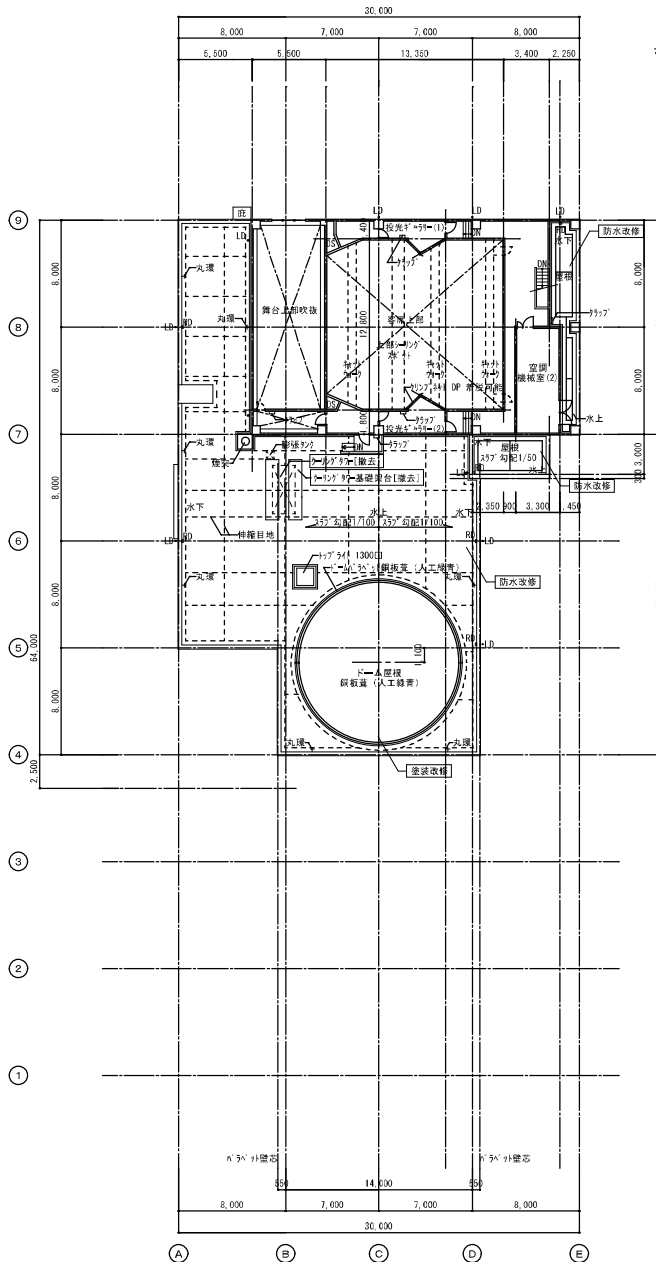
LD : 縦横 RD : 1-7ト レイ

一級建築士 第193004号 大形 一郎

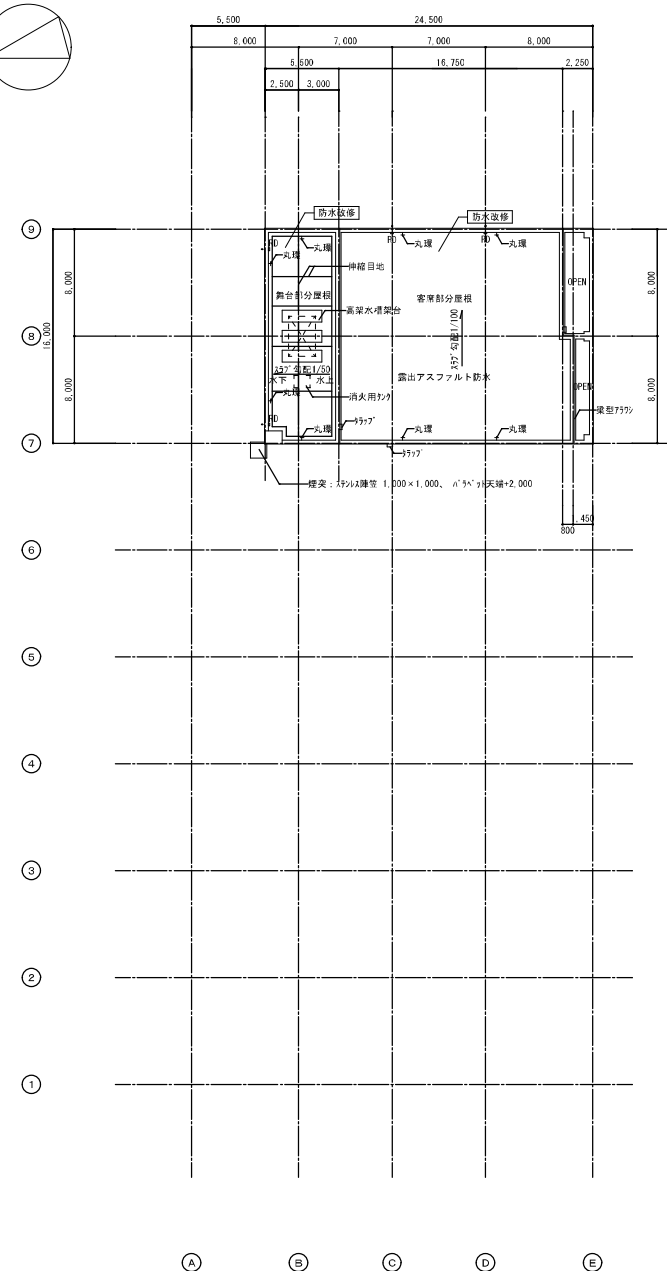
既存アスベスト建材除去にあたり、落盤防止対策
及床養生、出入口養生 ポリエチレンシート t=0.15
LD: 壁種 RD: 1-WF-10
床改修範囲は仕上表参照
P: 出入口養生
*: 床養生室



3階平面図 S=1/200



R1階平面図 S=1/200

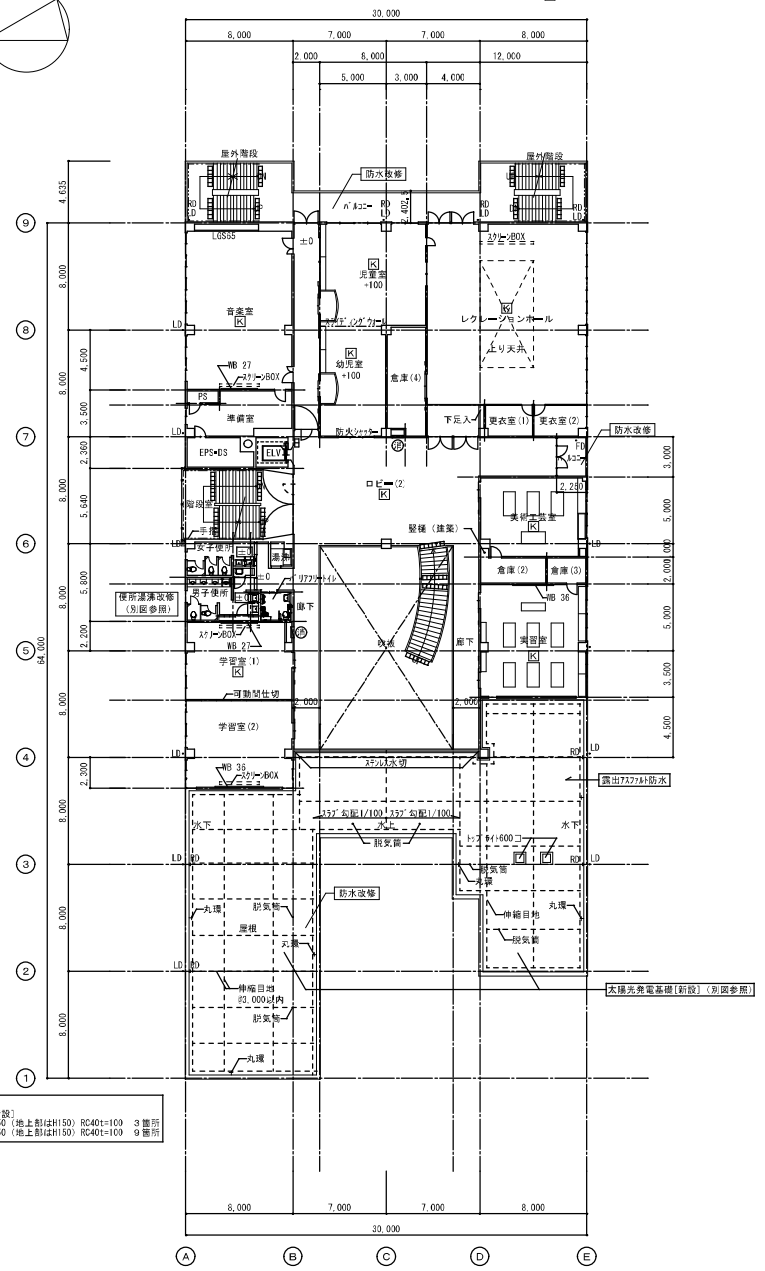
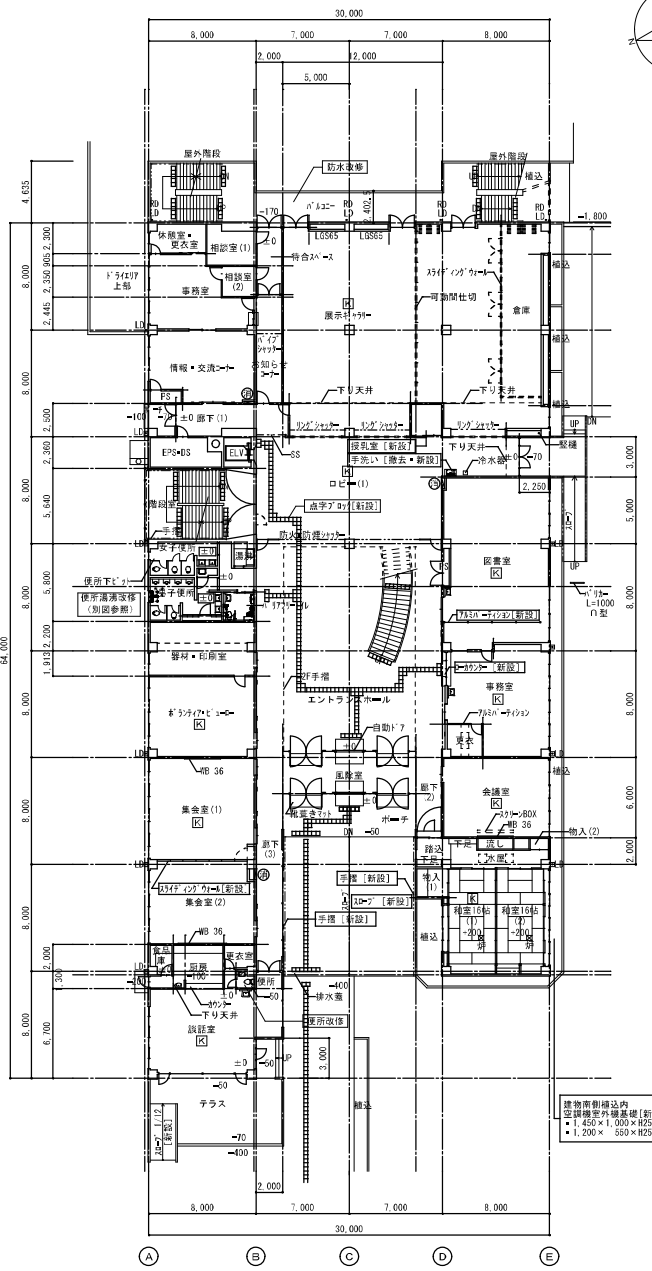
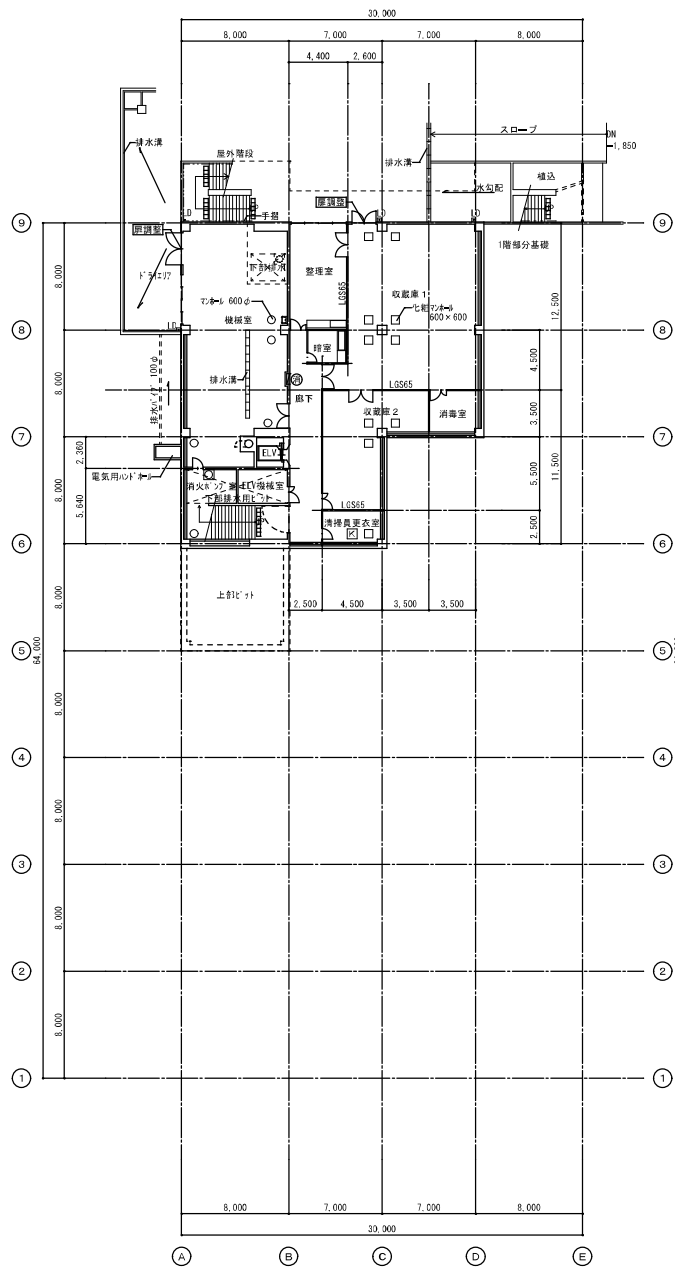


R階平面図 S=1/200 伸縮目地は、既存1階防水下

工事に支障のある備品は、工事にて移動する。

	株式会社 大誠建築設計事務所		代表取締役 小林 弘幸		一級建築士 第193004号		大形 一朗	
	一級建築士事務所 埼玉県和光市 4) 第9615号		代表取締役 小林 弘幸		一級建築士 第193004号		大形 一朗	
	埼玉県和光市 4) 第9615号		代表取締役 小林 弘幸		一級建築士 第193004号		大形 一朗	
	埼玉県和光市 4) 第9615号		代表取締役 小林 弘幸		一級建築士 第193004号		大形 一朗	

□ : 改修内容
床改修範囲は仕上表参照
□ : 室内環境測定室をします。

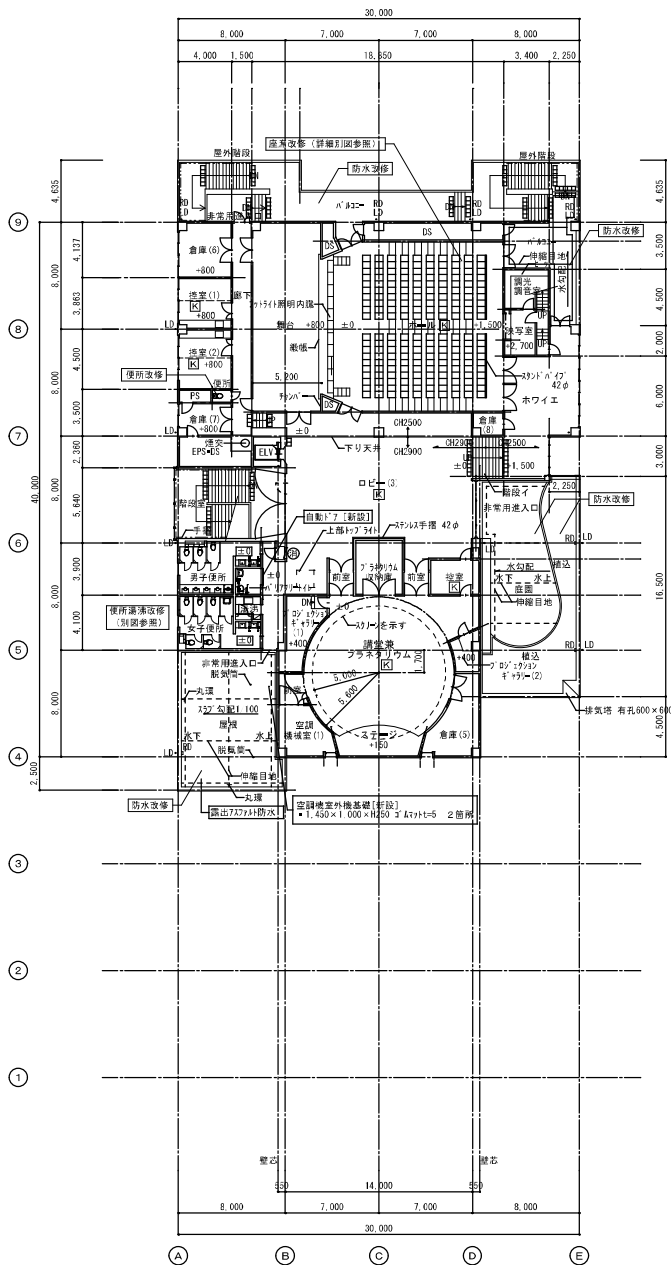


工事に変更のある備品は、工事にて移動する。 設備工事において外牆のコーキング工事で鉄筋切断部を防止し、必要に応じて補修を施すこと。

凡例
WB : 約10m² [新設] (又は更新)
例 36は 3600 (×1200H)

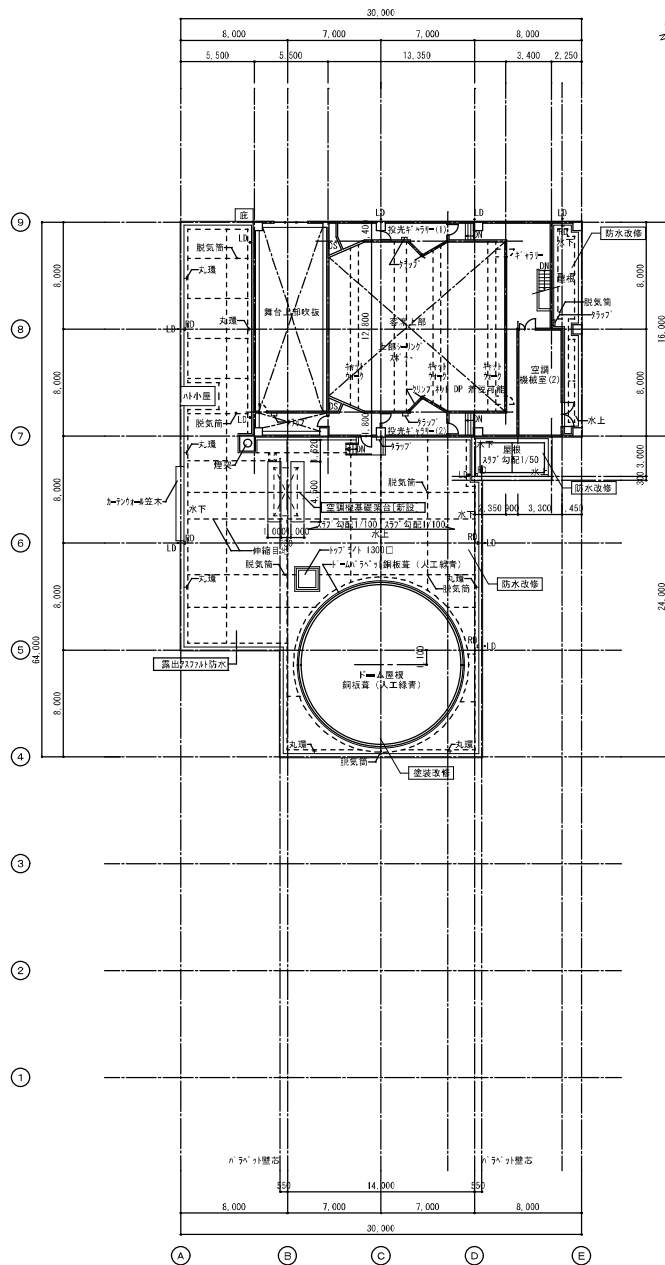
3401号階層構造共通
底層階層目地
巾10mm、24h形樹脂材補修のこと
LD : 壁紙
RD : 57mm²レイ

□ : 改修内容
□ : 改修範囲は仕上表参照
K : 室内標準測定室をします。

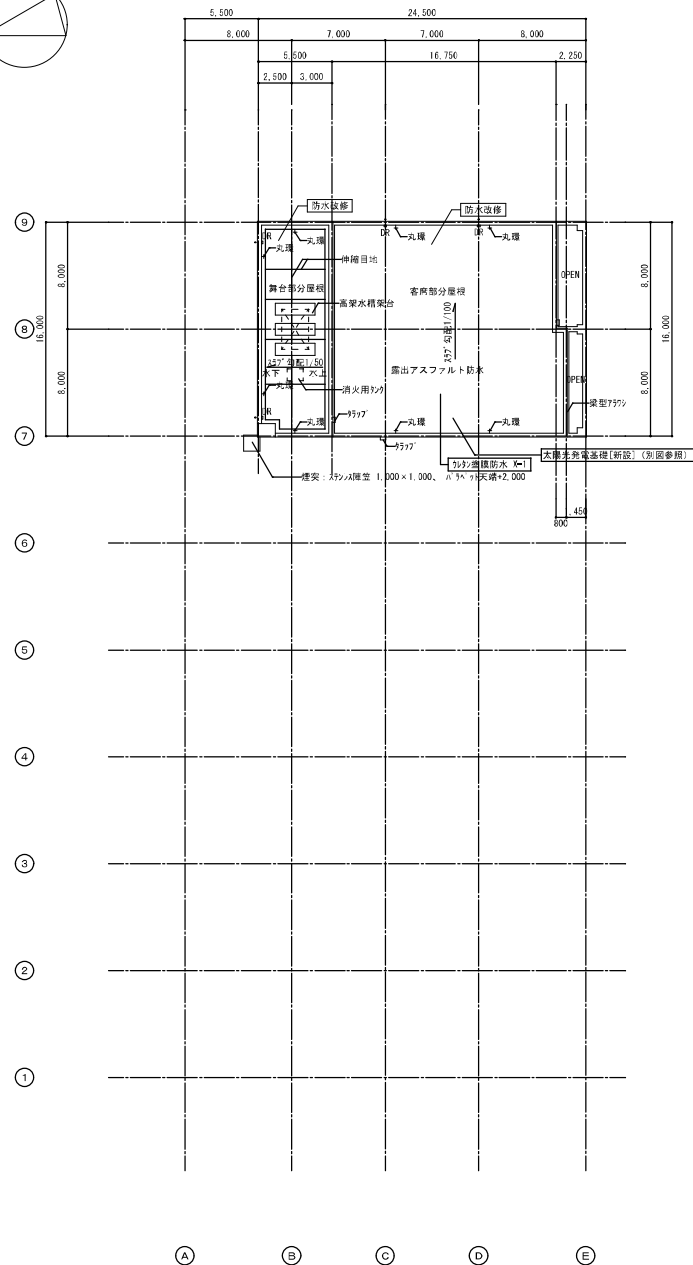


3 階平面図 S=1/200

工事に支障のある備品は、工事にて移動する。 設備工事において外壁のコータ抜き工事で鉄筋切断部は鋼板止め塗装を施すこと。



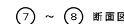
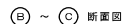
R1 階平面図 S=1/200



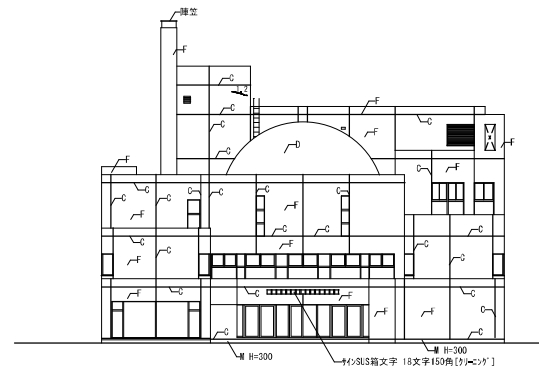
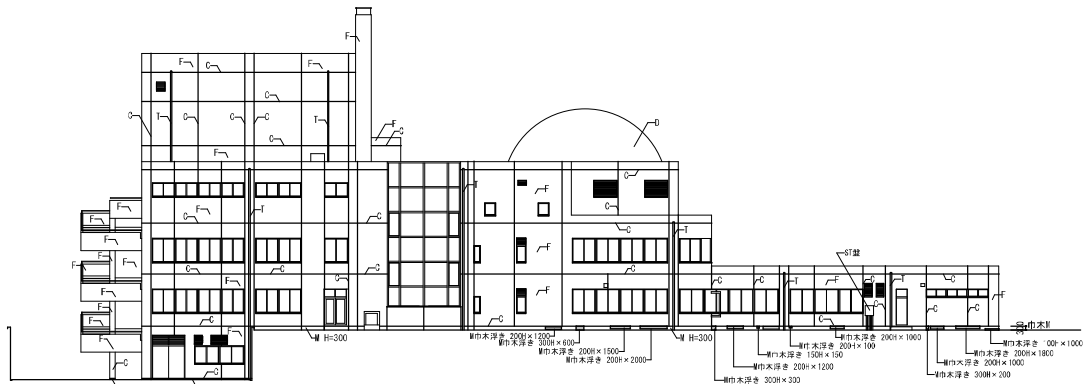
R 階平面図 S=1/200

3R+R階屋根共通
----- : 既存屋根目地
巾10mm、2R+R階屋根目地補修のこと
LD : 壁柱 RD : R+R階

	株式会社 大誠建築設計事務所		日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1 1/200 A3 1/400	A-009
	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4)第9615号								中央公民館・コミュニティセンター長寿寿命化改修工事			
	代表取締役 一級建築士 小林弘幸								改修後 平面図 (2)			
											一級建築士 第193004号	大形 一朗

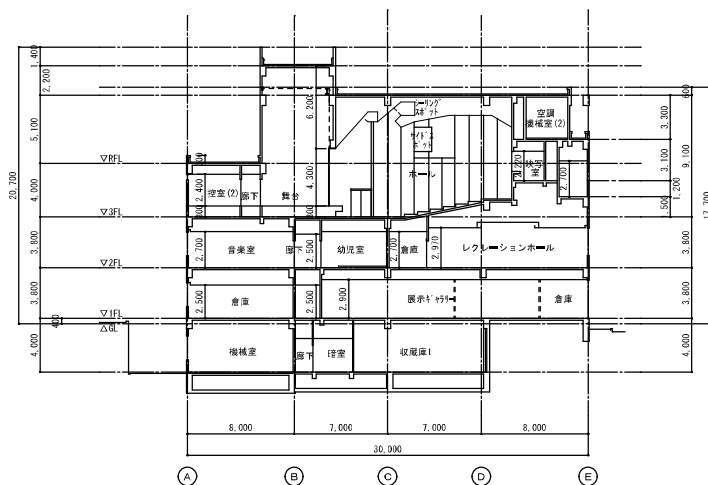
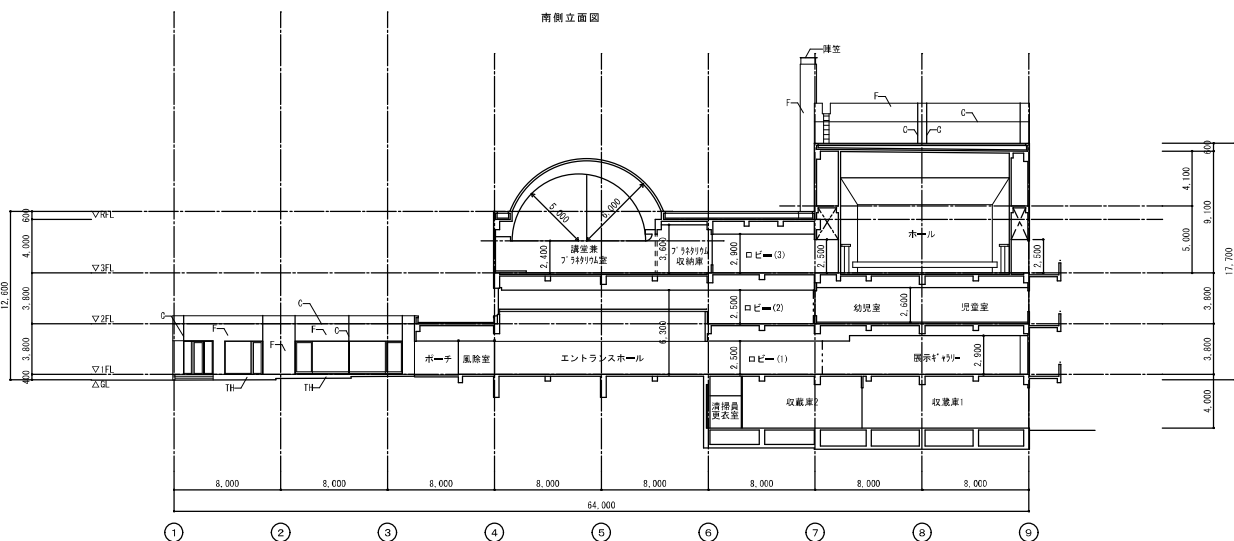
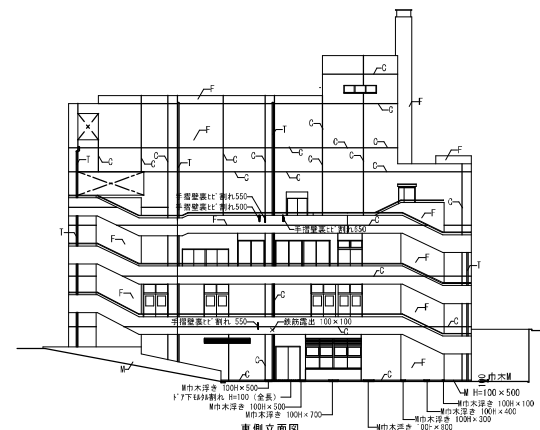
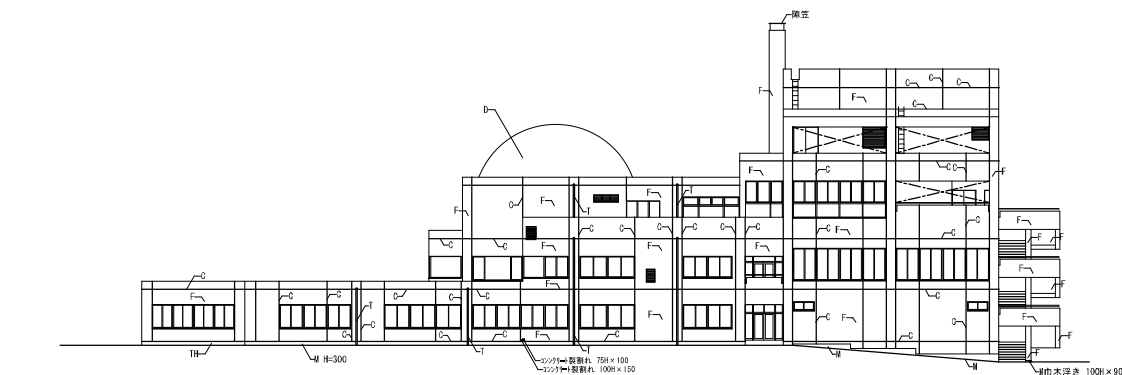


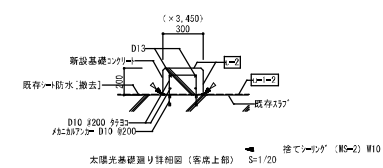
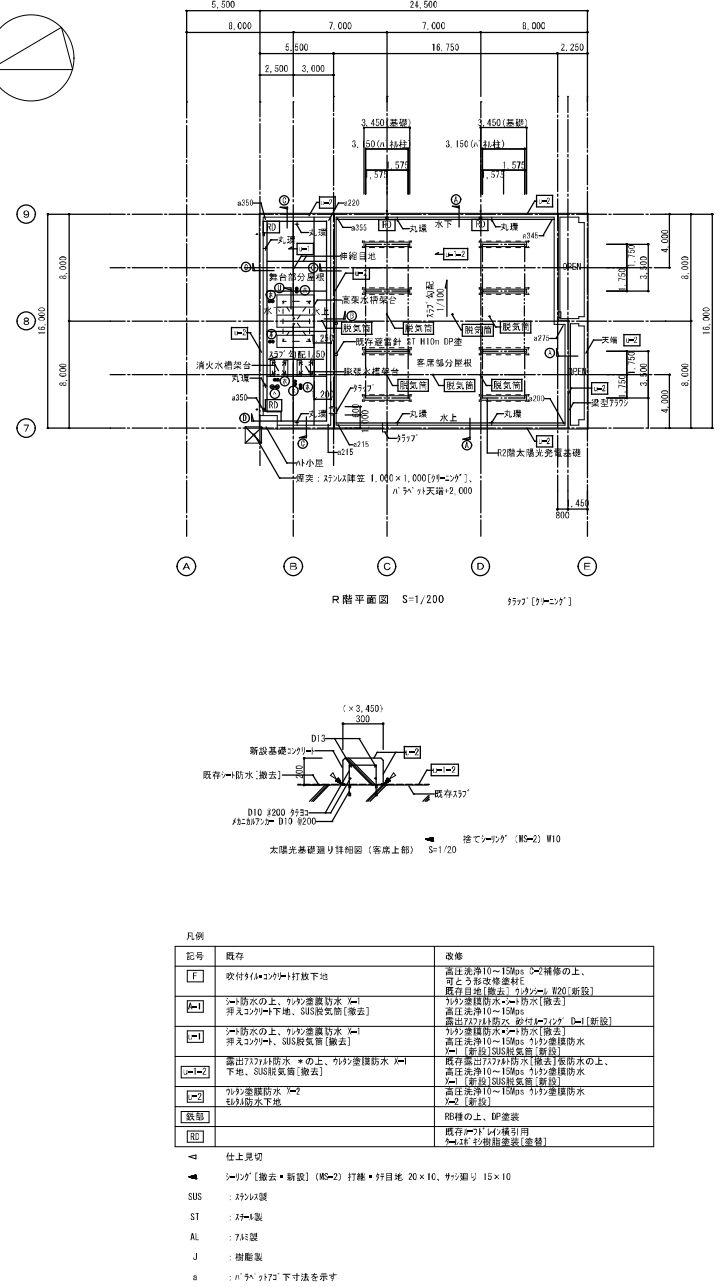
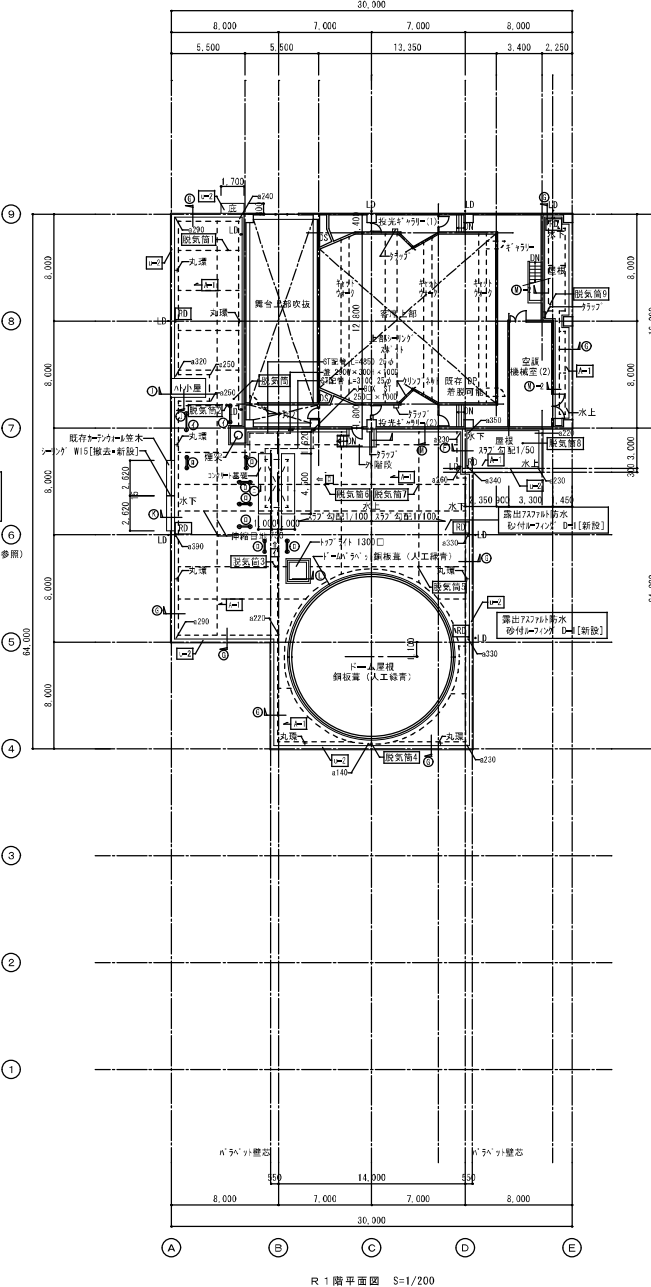
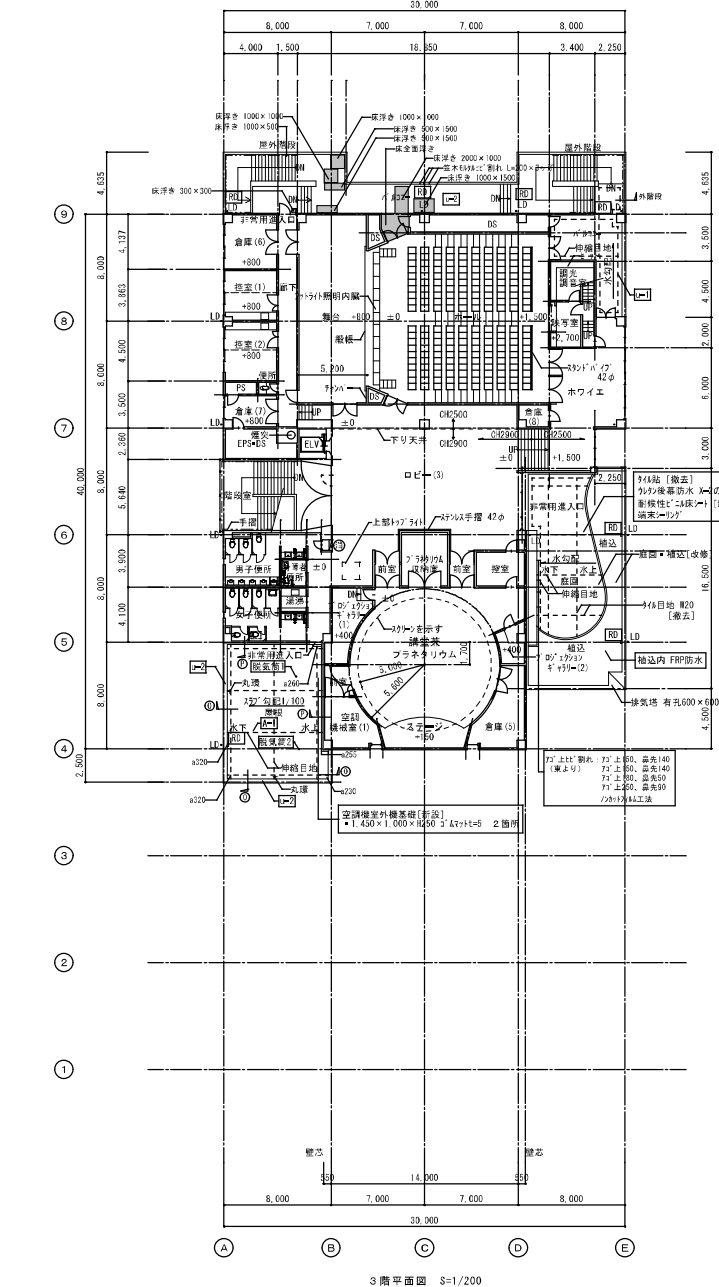
記号	既存
C	シツク 野芝 好子共
F	吹竹秋佳
M	秋山由美
KK	秋山由美 秋山由美防人 100
I	整橋 VP 100
TH	秋山由美
O=1	シツ橋 100
O=2	シツ橋 50
O=1	AL? 秋山由美? 100 50
O=2	AL? 秋山由美? 100 50
O=1	AL 秋山由美? 100 50
O=2	AL 秋山由美? 100 50
●	秋山由美 秋山由美 秋山由美
JB	秋山由美 秋山由美
AL	秋山由美
ST	秋山由美
J	秋山由美



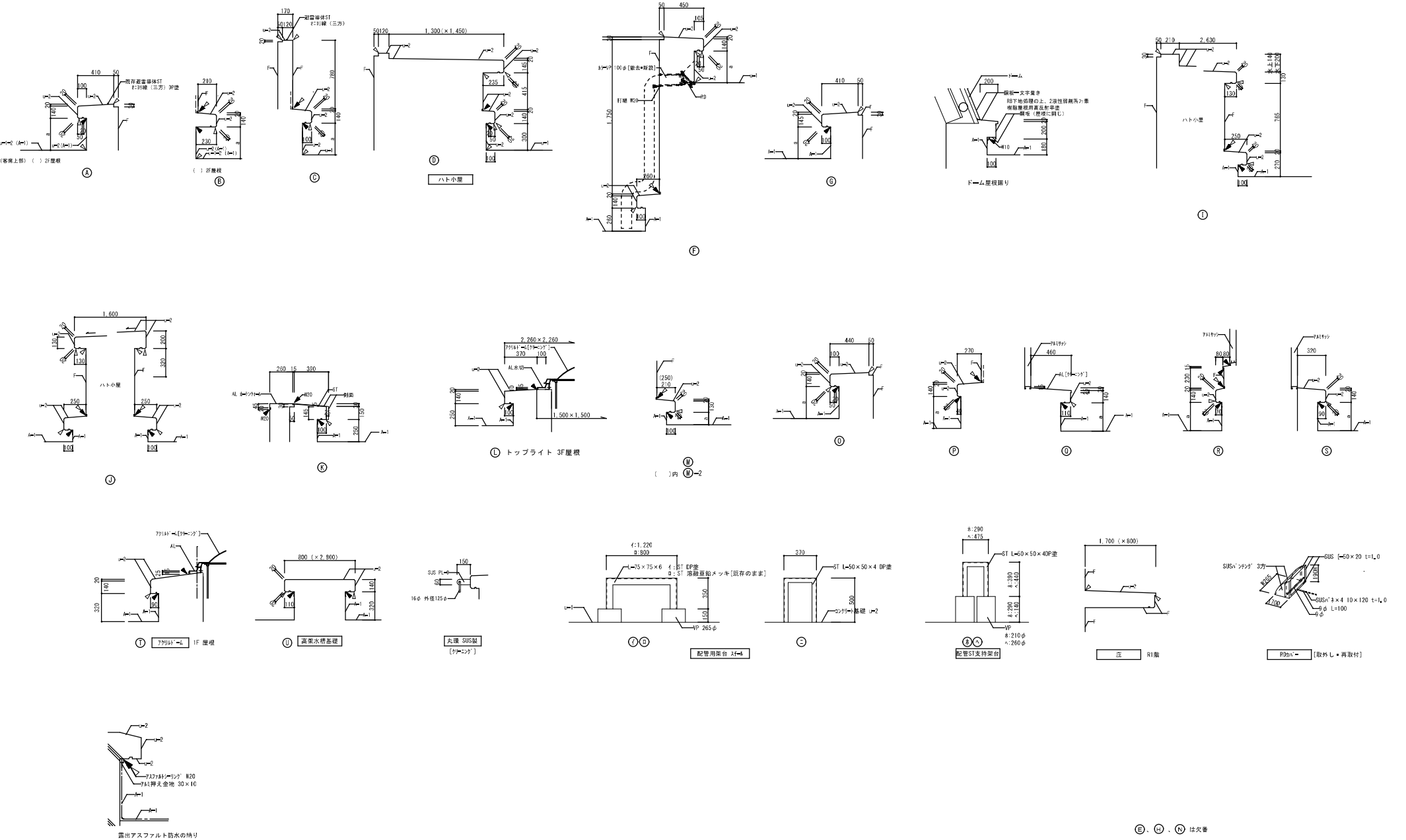
凡例	記号	既存	改修
F	吹付(ハコング)打放下地		高圧洗浄10~15bar 2~3層の上、可とう彫改修塗材E (上塗りフッ素)
C	打継、9目地(ツグ) 20×15		既存撤去の上、ツグ(NS-2) (新設)
D	銅板 t=0.4 人工緑青木地 文字字		高圧洗浄10~15bar、2層性耐腐素F(清 部用)を現用造反耐素 部用撤去、ツグ(ツグ) 100φ SUS板み金物とも(新設)
T	壁補 塩ビ 100φ、SUS板み金物		

ツグ補修 田島(ツグ)、ノリツグ(4工法 (同等))
 × 煉瓦補修 変化部(ツグ)除去、鉄骨露筋部(ツグ)除去、2F 杉板補修(ツグ)充填
 M 杉板壁 高圧洗浄10~15bar、
 浮き補修、ツグ(ツグ) 16穴/m部分2F 杉板補修(ツグ)
 欠損部 (20E)の金物補修
 ST 鉄部塗装





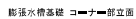
凡例	記号	既存	改修
	[F]	吹付タ(タコタ)打放地下	高圧洗浄10~15mm (R5-2) 補修の上、可とう形改修等材
	[R-1]	床材の上、タタキ撤去防水	既存目地(撤去) タタキ W20 [新設]
	[R-2]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm SUS脱気筒 [撤去]
	[R-3]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-4]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-5]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-6]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-7]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-8]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-9]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]
	[R-10]	床材の上、タタキ撤去防水	高圧洗浄10~15mm 吹付タタキ [新設]



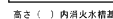
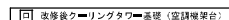
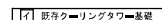
⑤、④、③ は欠番
④ シーリング [撤去・新設] 10×10、ナシ 15×10 (NS-2)
④ 仕上見切を示す
鉄部: 地下地処理の上、DP塗



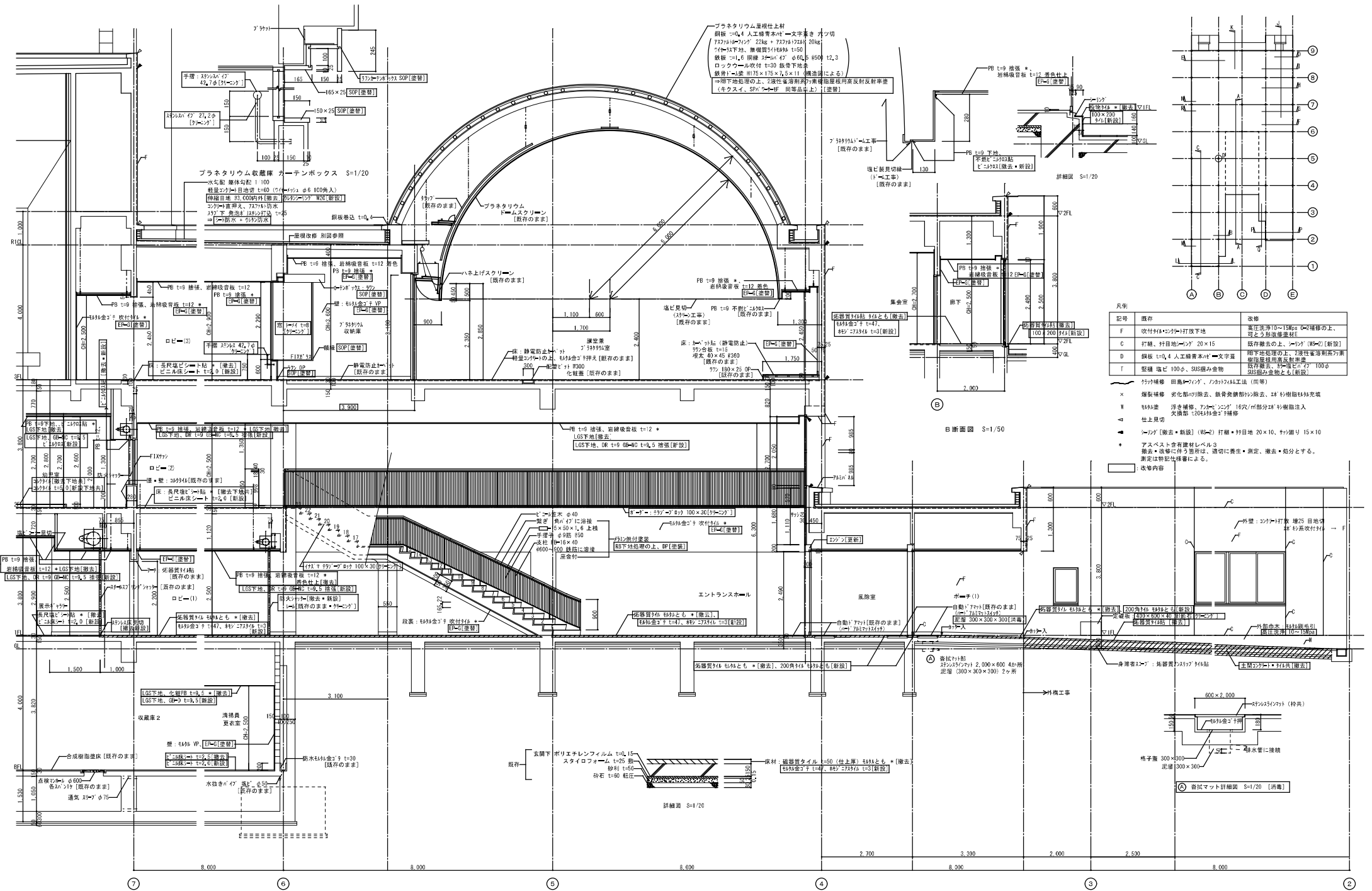
① ② 以外鉄部は、RB下地処理の上、DP塗



族部：R8種の上、DP塗装



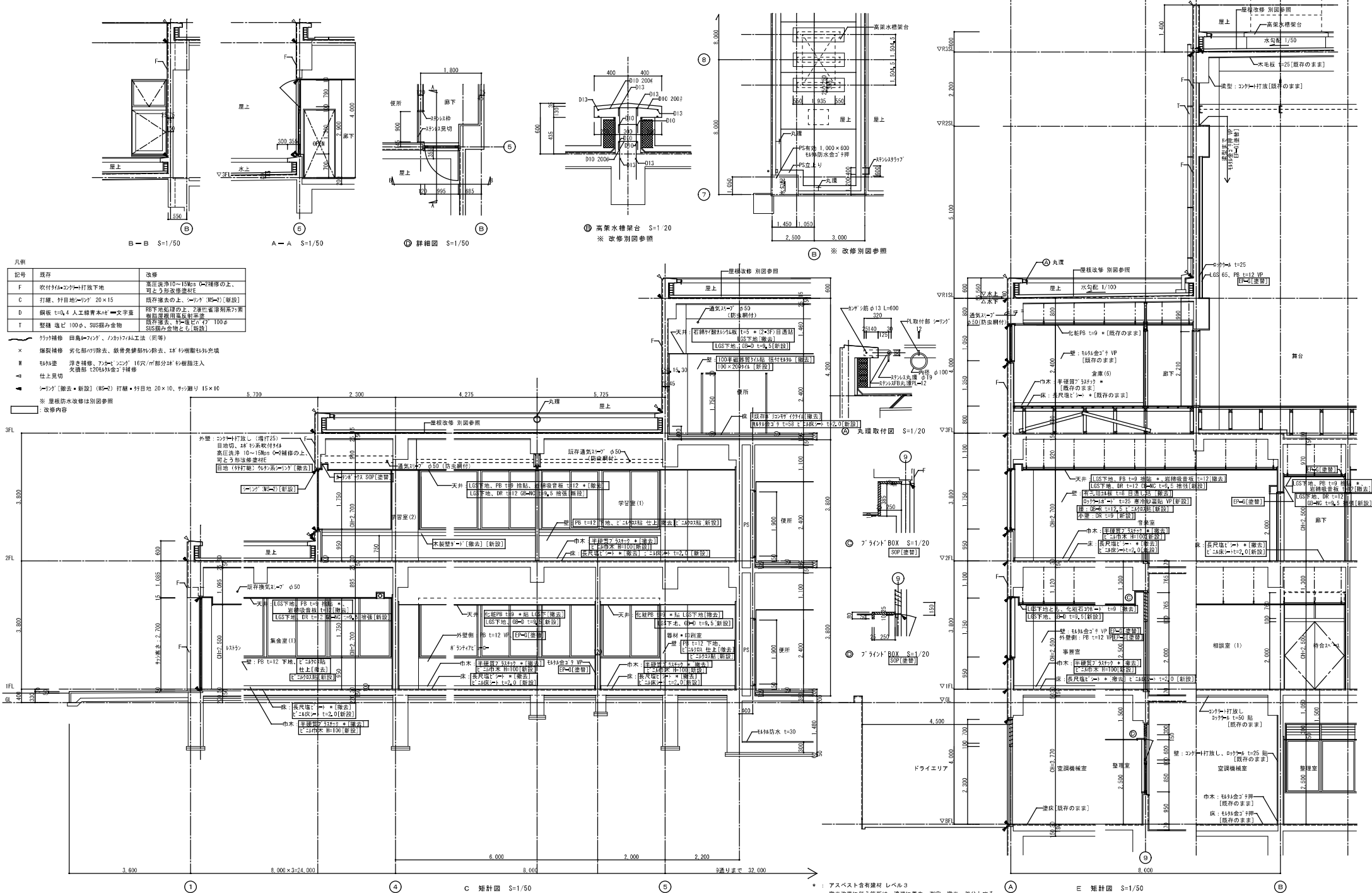
註部：用種の上、DP塗装

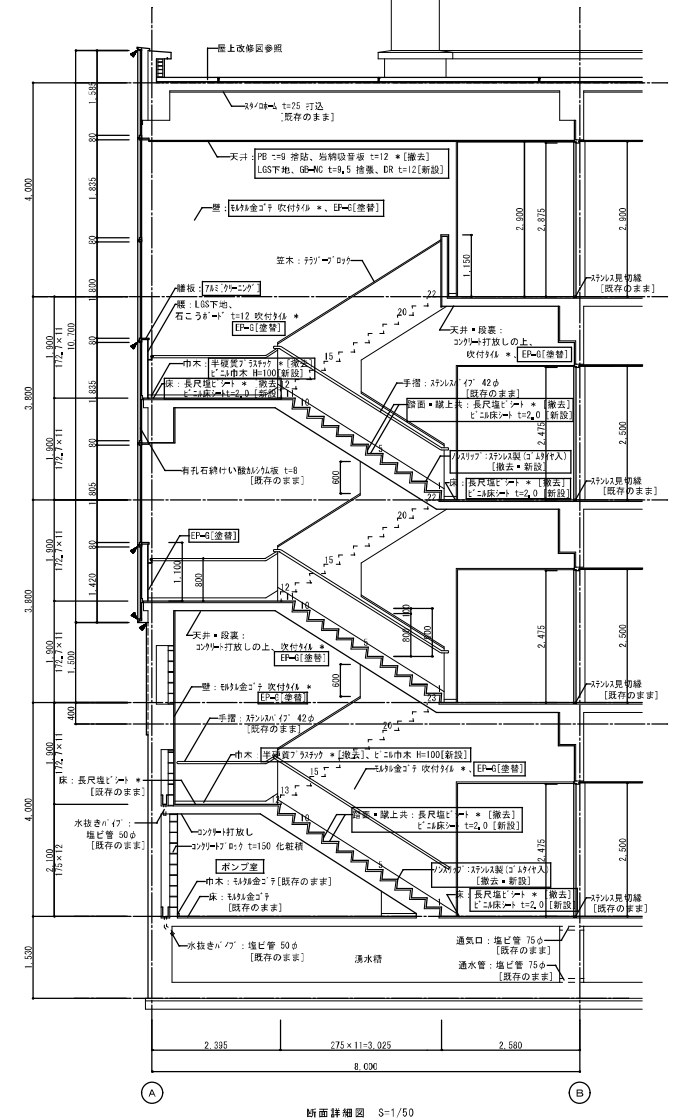
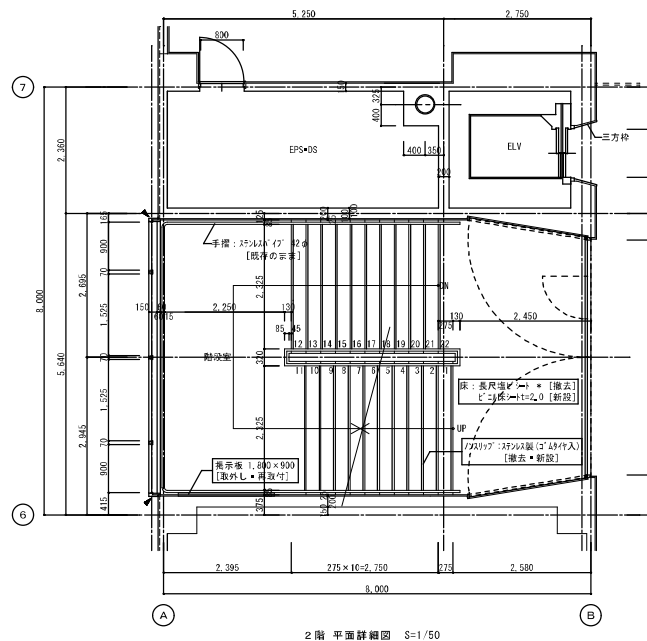
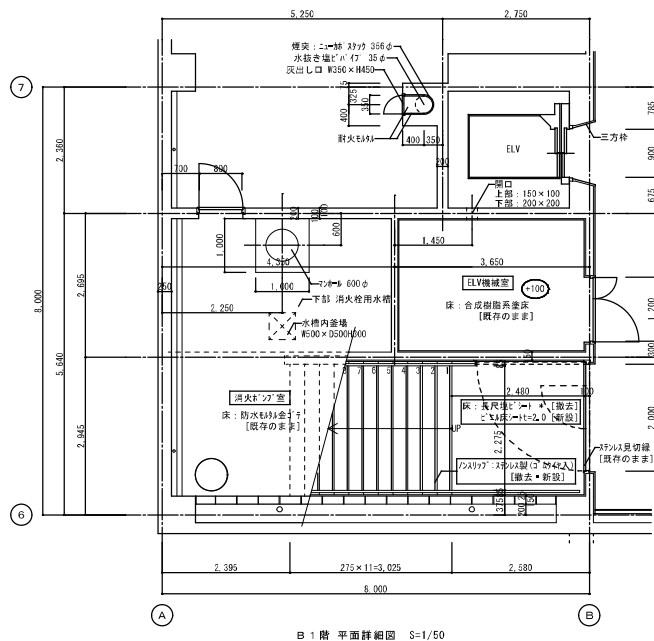
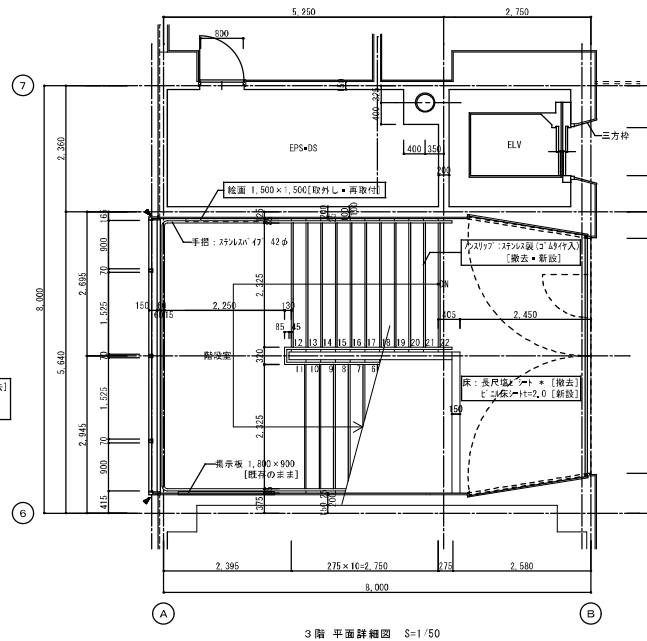
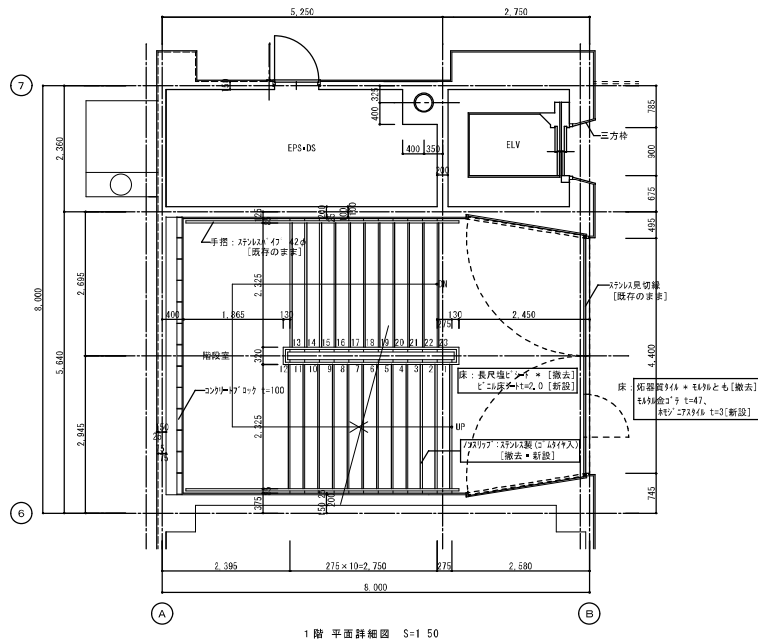


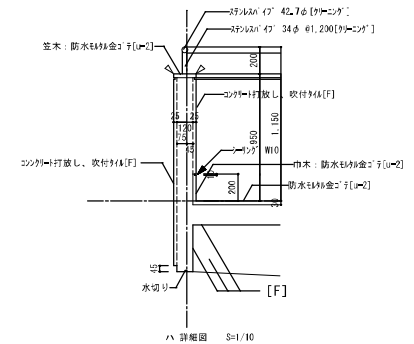
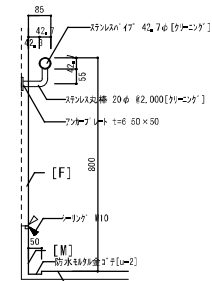
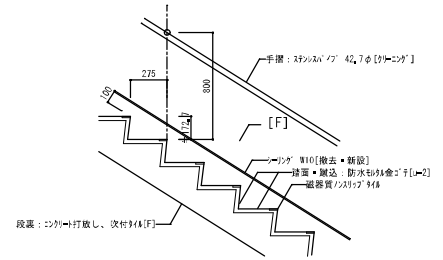
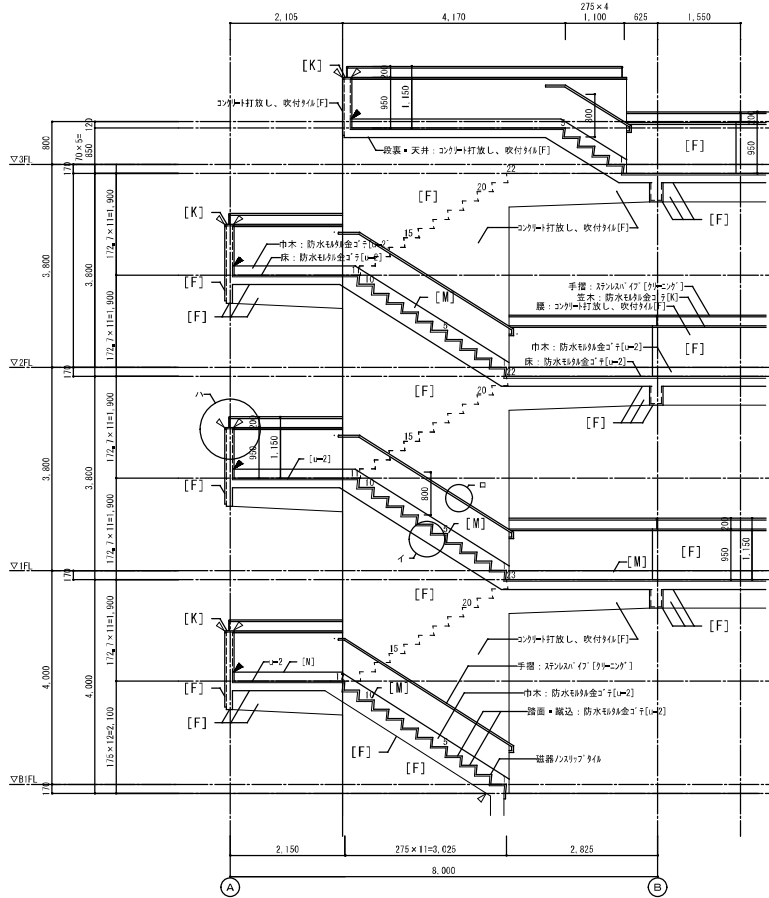
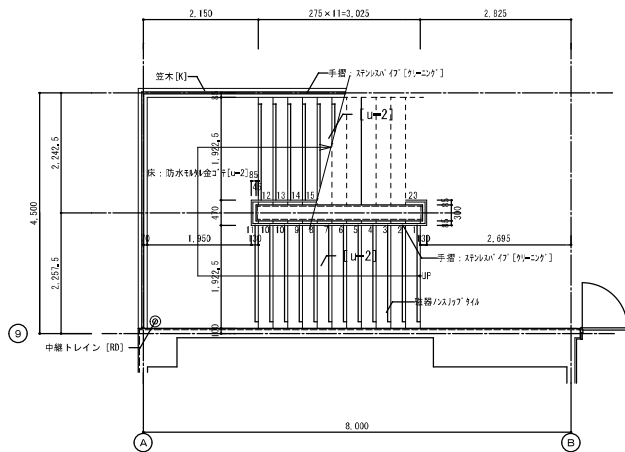
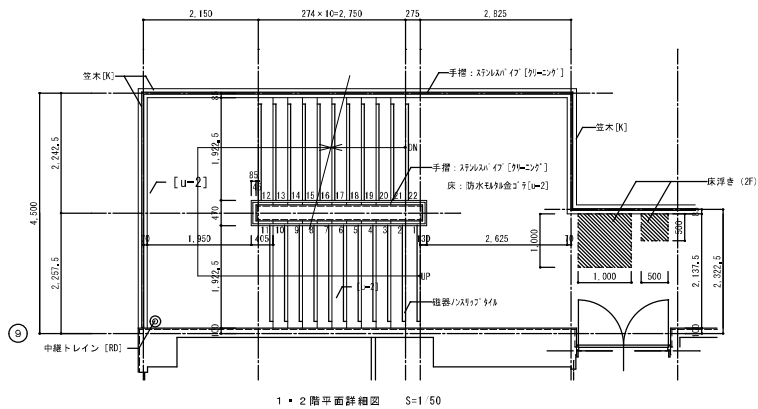
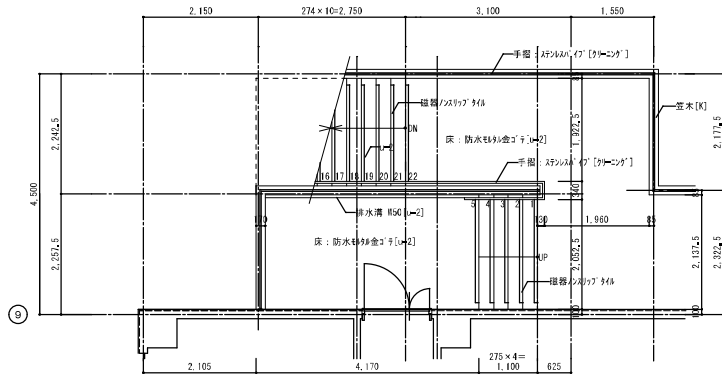
凡例

記号	既存	改修
F	吹付イタ・コンクリート打放地下	高圧洗浄(10-15kg/cm ² 程度)の上、 珪藻土吹付(厚さ約10mm)
C	打板、好目地・メーリング 20×15	既存継ぎ目の上、メーリング (W50) [新設]
D	鋼板 t=0.4 人工緑青木片・文字画	地下地処理の上、2液性電着剤系防腐 塗料(厚さ約0.2mm)を施工し、 鋼板 t=0.4 人工緑青木片・文字画 を貼付(100φ、SUS板目金物とも新設)
T	堅固 塩ビ 100φ、SUS板目金物	SUS板目金物とも新設

○ 吹付イタ・コンクリート打放地下 (吹付イタ・コンクリート打放地下)
× 腐食補修 劣化部(コンクリート)の除去、4液性電着剤系防腐塗料を施工
H 珪藻土 吹付イタ・コンクリート打放地下(吹付イタ・コンクリート打放地下)
A 仕上げ
△ 吹付イタ・コンクリート打放地下 (吹付イタ・コンクリート打放地下)
・ アスベスト含有建材レベル3
撤去・改修に伴う箇所は、適切に養生・測定、撤去・処分とする。
測定は特記仕様書による。



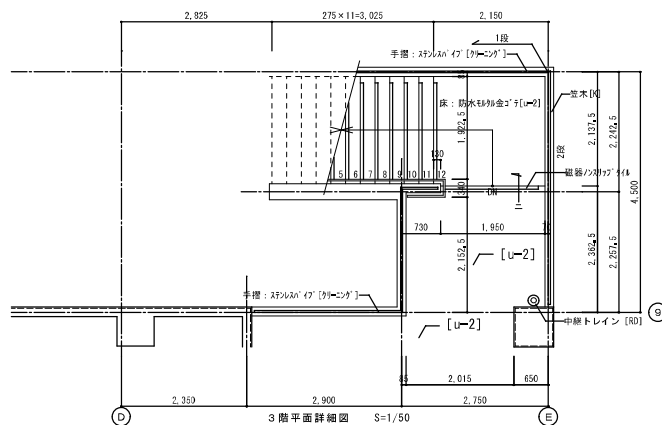
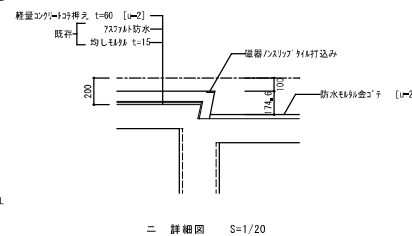
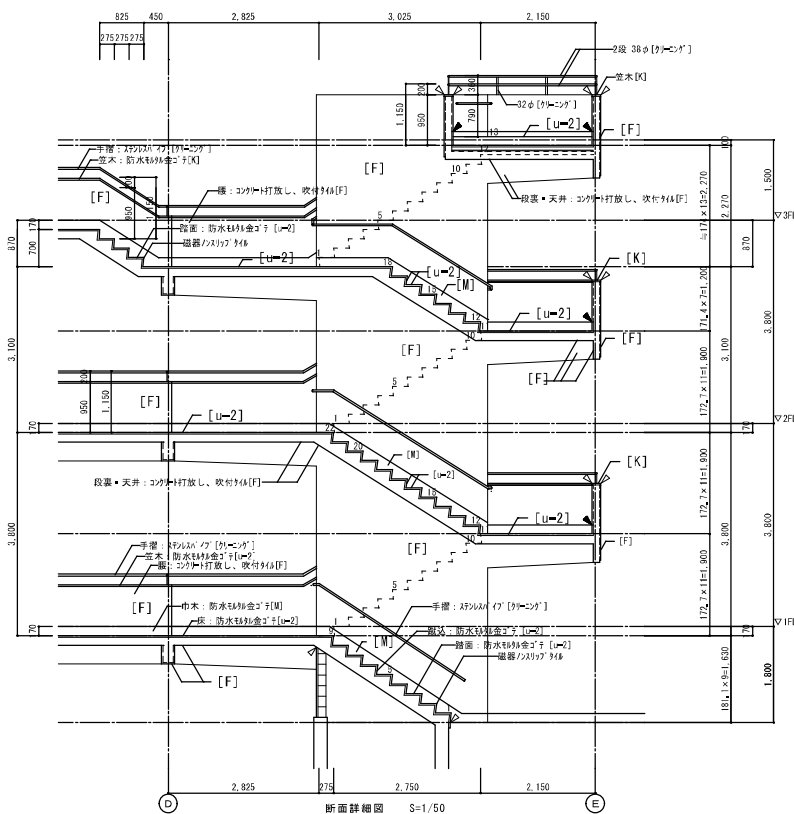
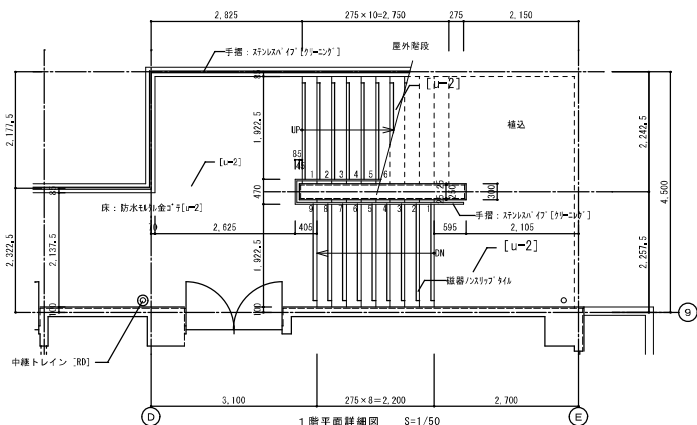
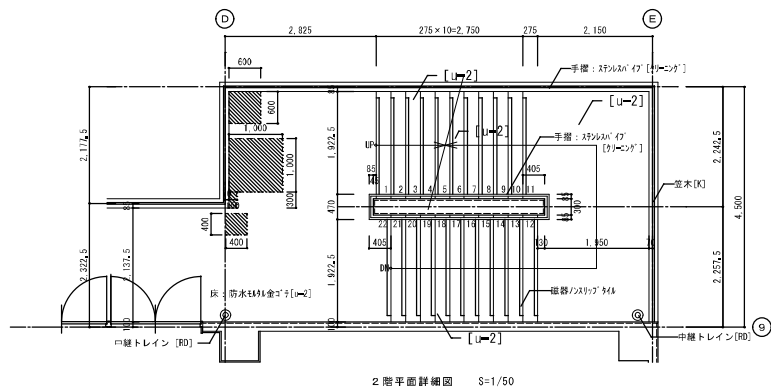
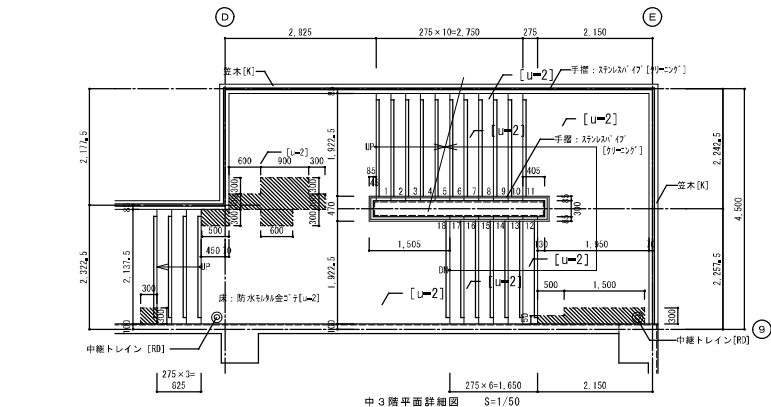




改修凡例

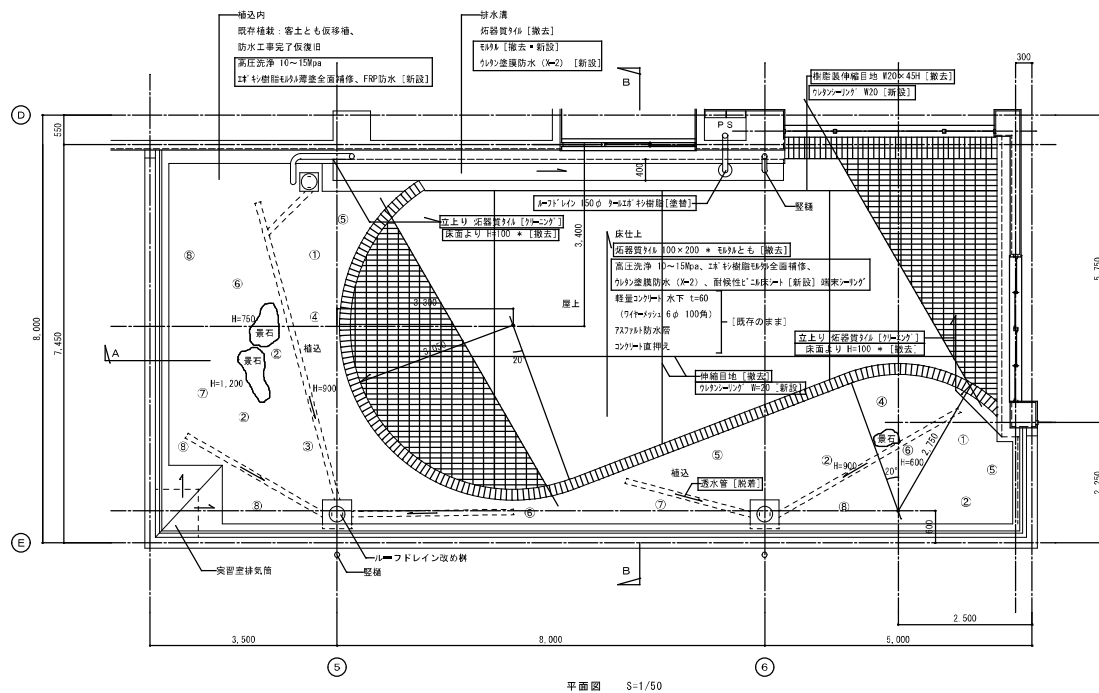
記号	既存	改修
[F]	吹付けタイル(コンクリート)打放し下地	重圧洗浄10~15Mpa U-2補修の上、 珪藻土接着剤貼付
[U-2]	珪藻土接着剤貼付	重圧洗浄10~15Mpa 珪藻土接着剤貼付 (珪藻土)
[K]	珪藻土	重圧洗浄10~15Mpa U-2補修の上、 珪藻土接着剤貼付
[M]	市木	珪藻土接着剤貼付

- 床モルタル浮き補修
 アンカービーニング部分エポキシ樹脂注入工法
 シーリング (市木モルタル上部 10×10) (撤去・新設)W-2
 仕上見切り
 [RD] 中継ドレイン100φ用 タールエポキシ樹脂塗布

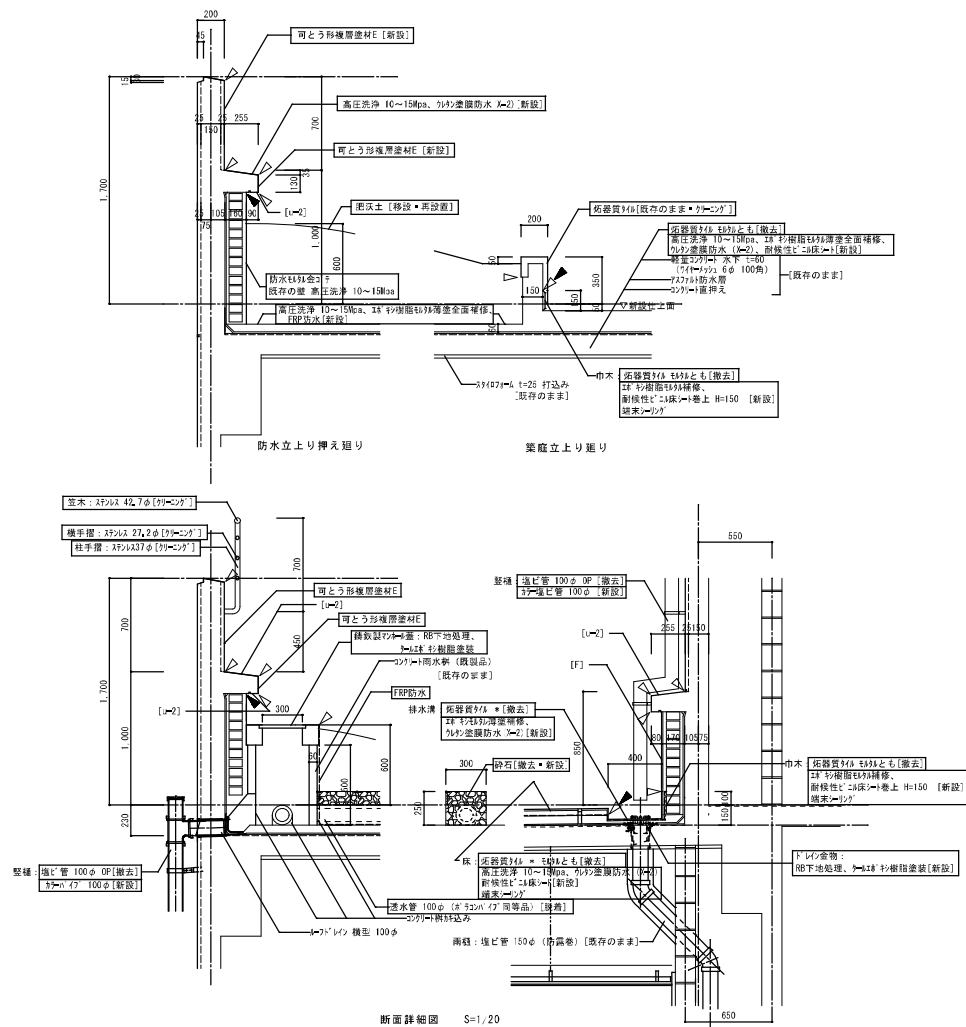
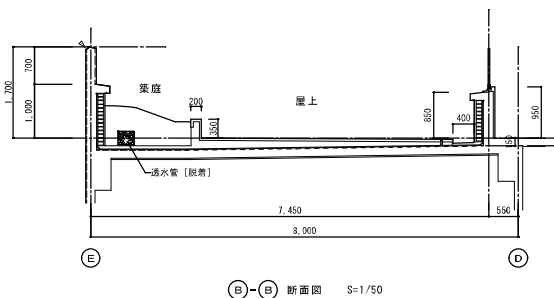
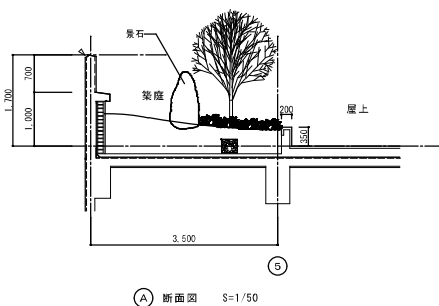


改修凡例		
記号	既存	改修
[F]	吹付90φコナート打放下地	高仕流平10～15Wgs (〇)補修の上、可とう形改修素材E
[U-2]	カワ造裏切水	高仕流平10～15Wgs カワ造裏切水 (〇) (新設)
[K]	笠木：防水444	高仕流平10～15Wgs (〇)補修の上、カワ造裏切水 (〇)
[E]	巾木：防水444	高仕流平10～15Wgs (〇)補修の上、カワ造裏切水 (〇)

床モルタル滑き補修
 アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法
 シーリング (巾木モルタル上部 10×10) [撤去・新設]R5=2
 仕上見切り
 [RD] 中継ドレイン100φ用 クールエポキシ樹脂塗

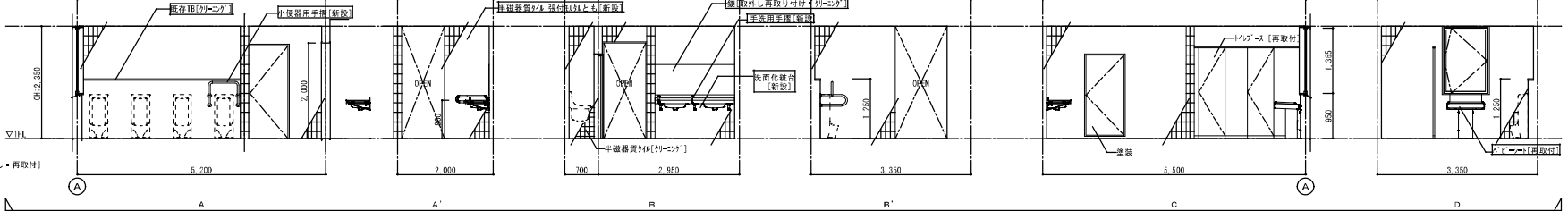


樹木表 ※ 雄略館前庭内庭移植、防水工事完了後再移植（復旧）、復旧は現状に合わせる事。					（ ） 内当部設計参照				
記号	名称	大きさ		備考	記号	名称	大きさ		備考
		高さ	目通り周 枝張				高さ	目通り周 枝張	
①	ナツツバキ	2,000	120 3本立		⑥	ドウダングツジ	600	- 300	(12本/m) 計75本
②	ナツツツバキ	2,500	150 3本立以上		⑦	イヌヅガ	1,000	- 400	(8本/m) 計20本
③	ナツツツバキ	3,000	200 3本立以上		⑧	ツバキ・サザンカ	1,800	- 500	(3400) 6:4 (2x4/1坪/分) 12本/本
④	コグマザサ	120	- 3芽立	(50株/m) 計10株					
⑤	サツキツバキ	400	- 500	(6本/m) 計4株		覆石	-	-	H寸法は大きさの目安を示す



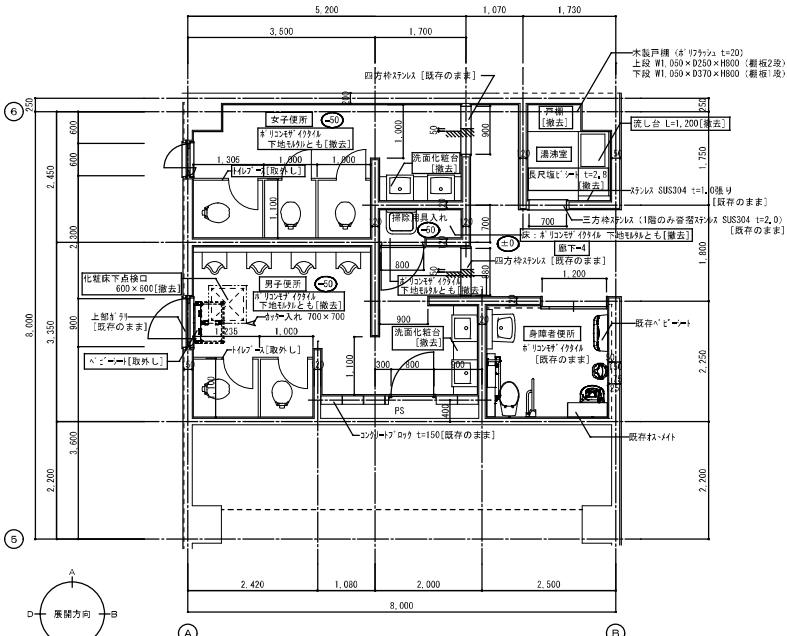
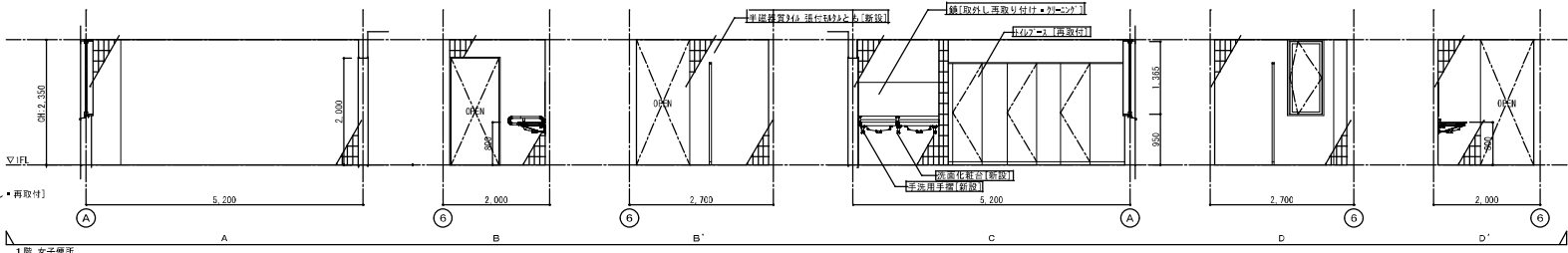
改修後	
1階 男子便所・掃除用具入れ	
床	杉材合板25 t=58、 ビニル床材 t=2.0(新設)一部汚垂(→)
巾木	→
壁	100角半組器資946 既存杉材床(撤去) 100×200角器資946(新設) 壁紙所入れ 105角半組器資946 (タコシ)
天井	1.65下地、GD-0 t=4.5(新設)
備考	→

トイレット：
 床：杉材合板25 t=58
 取付金物：ステンレス
 各ドア：荷物入れ W300×D200
 ステンレス製ハーフドア(取外し・再取付)



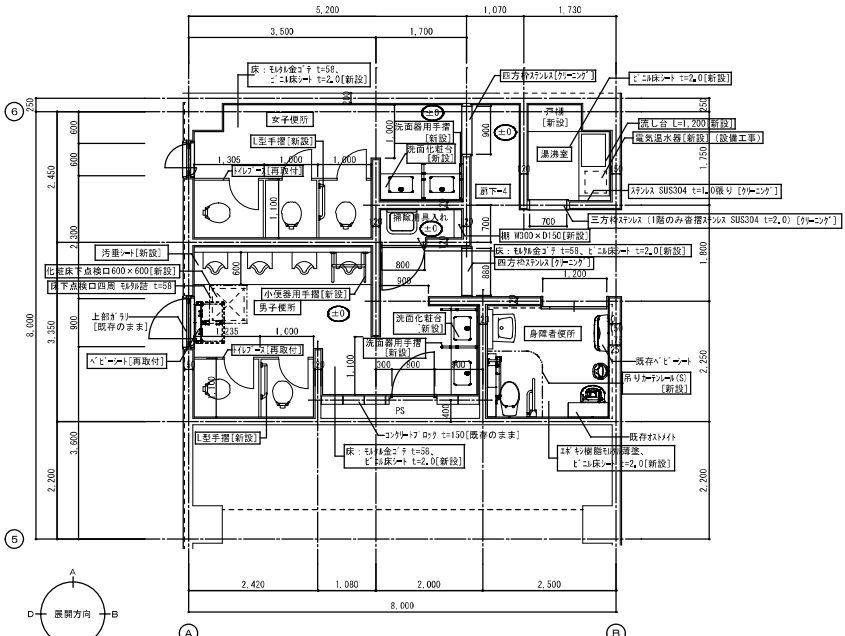
改修後	
1階 女子便所	
床	杉材合板25 t=58、 ビニル床材 t=2.0(新設)一部汚垂(→)
巾木	→
壁	100角半組器資946 既存杉材床(撤去) 100×200角器資946(新設)
天井	1.65下地、GD-0 t=4.5(新設)
備考	→

トイレット：
 床：杉材合板25 t=58
 取付金物：ステンレス
 各ドア：荷物入れ W300×D200
 ステンレス製ハーフドア(取外し・再取付)

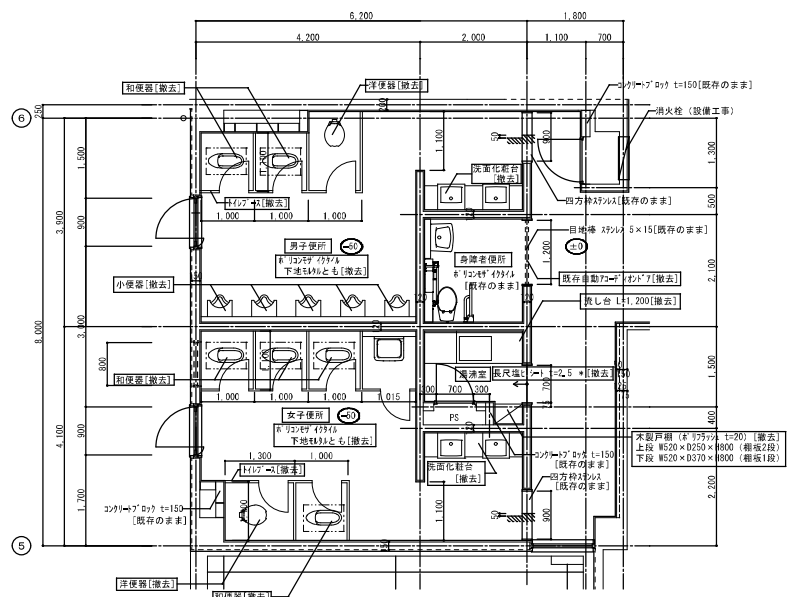


改修前 1階 平面詳細図 S=1/50

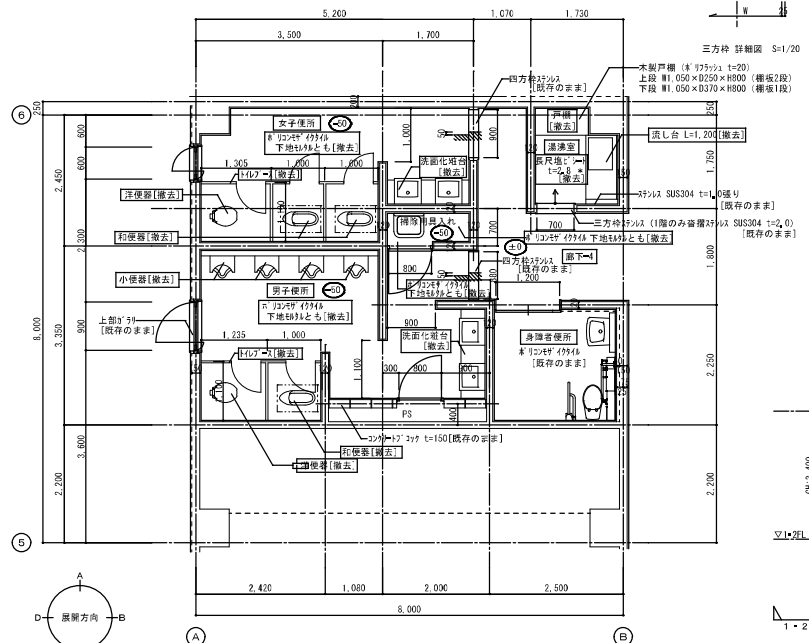
・ 清潔室吊戸棚底版 + 側板・流し台板裏打ち材ハ67タコシ板(撤去)



改修後 1階 平面詳細図 S=1/50

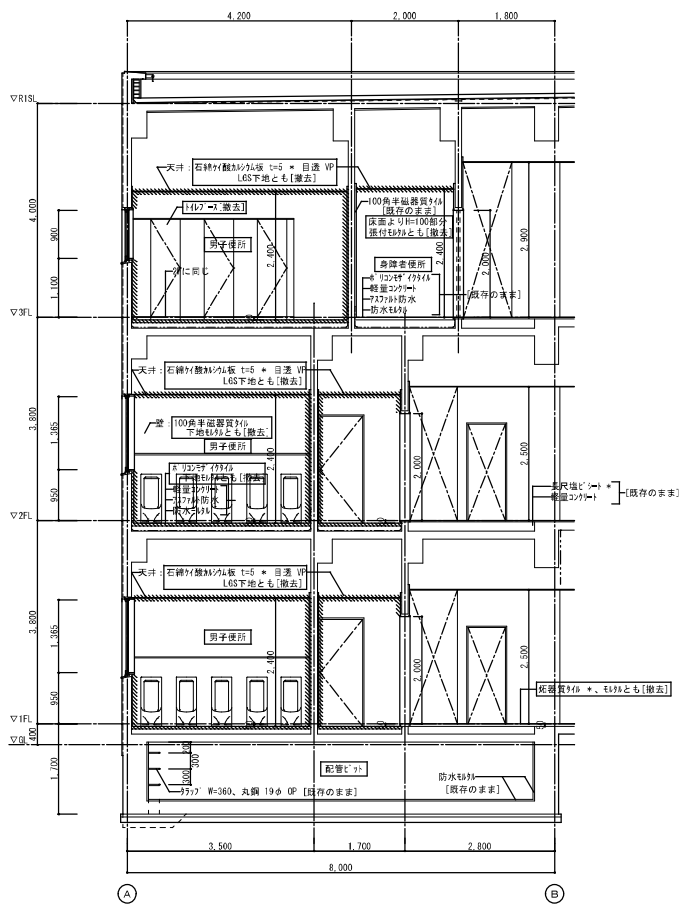


3階 平面詳細図 S=1/50

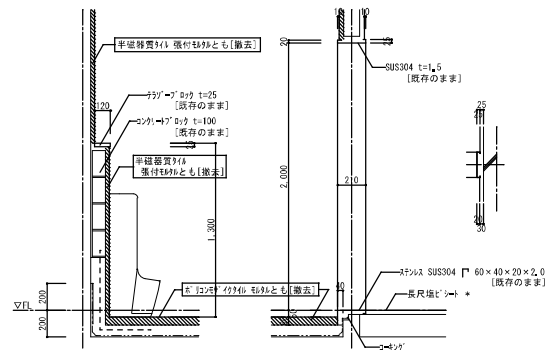


2階 平面詳細図 S=1/50

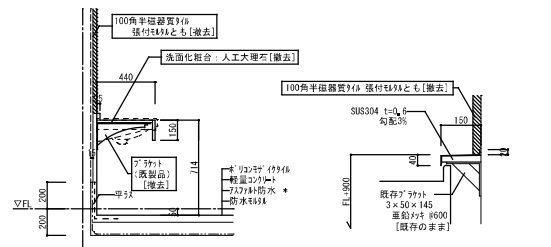
2階のみ内増し打ちt=15 (記入登壇はこれを含まない)
* 湯沸室市戸組直断・創縁・流し兼排水行ち材 W 87 セリシ板



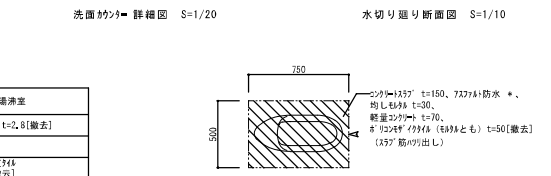
断面詳細図 S=1/50



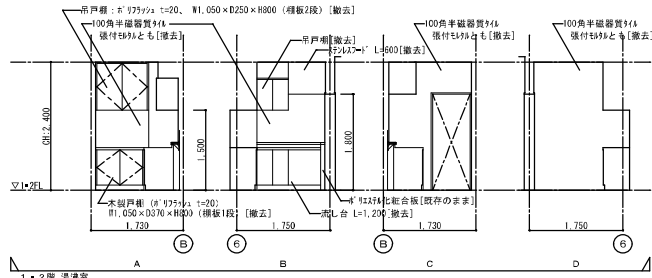
小便器前面立上り 詳細図 S=1/20



洗面タケタ 詳細図 S=1/20

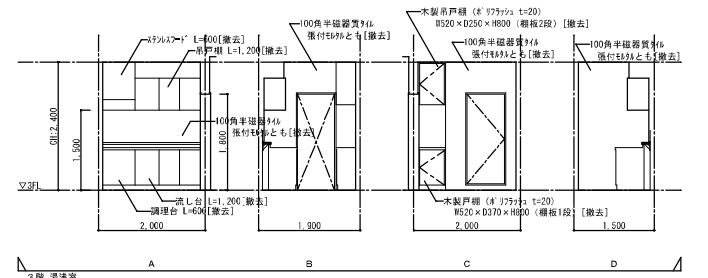


水切り廻り断面図 S=1/10



1・2階 湯沸室

1・2・3階 湯沸室	
床	長尺型ビシト t=2.8(撤去)
巾木	-
壁	100角半組器質タタ 張付タタとも(撤去)
天井	石綿付鉄板タタ t=5 目透 VP (65下地とも(撤去))
備考	-



3階 湯沸室